

傷を絆に  
。

## 主な話題

- 平成28年熊本地震 ..... 2
- 震災関連インフォメーション ..... 6
- 施設の休館と今後の利用について ..... 8



—写真—

1 9 石灯籠が崩れ落ち鳥居が崩壊した竹迫日吉神社  
 2 4 6 崩れ落ちた屋根瓦や外壁 3 キャビネットが倒れた須屋市民センター事務所 5 8 高速沿いの道路やマンホール周辺に入った亀裂 7 鳥居が割れた大池神社 10 11 12 備品や書類が散乱した合志庁舎内

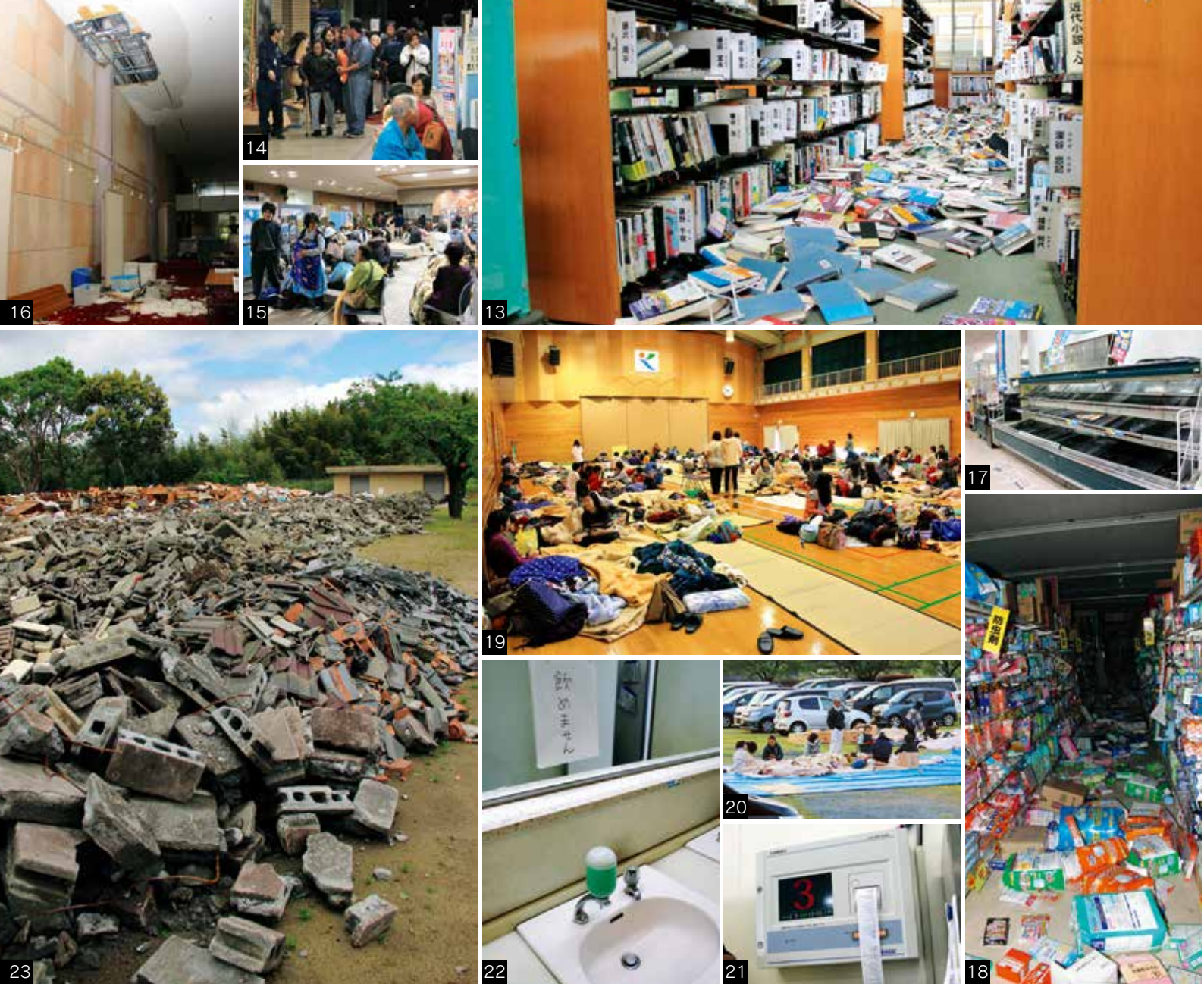
# 平成28年(2016年)熊本地震 合志市では震度6強を観測

4月14日午後9時26分頃、熊本県で最大震度7、マグニチュード(M)6.5の地震が発生。本市でも震度5強を観測した。震源は熊本地方の地下約11キロ。日本で震度7が観測されたのは東日本大震災以来4回目、九州地方では観測史上初。気象庁は「平成28年(2016年)熊本地震」と命名した。

続いて16日の午前1時25分頃。最初の地震による動揺がおさまらぬまま、本震とみられる震度7、M7.3の地震が再び熊本を襲った。本市では震度6強を観測。その後も幾度となく余震が続き、大きな被害と恐怖をもたらした。

14日午後10時30分頃、市災害対策本部は自主避難所9カ所を開設した。しかし、16日の本震やその後の余震の影響で避難者数はさらに増加。避難所はピーク時で21カ所に増え、6629人が避難した。

着の身着のままの状態が集まった避難者。合志庁舎ではロビーや廊下、屋外にも人があふれ、多くの住民が不安な夜を過ごした。



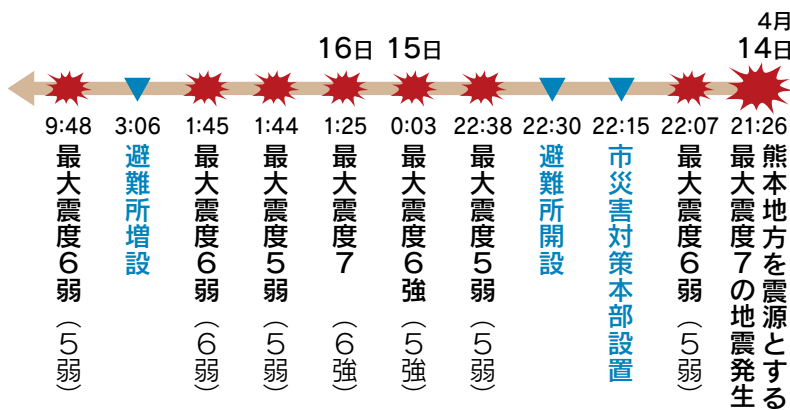
—写真—

13本が床一面に散乱した西合志図書館 1415合志庁舎に避難した住民 16配水管の損傷で水が漏れ、天井が一部崩落したヴィーブル 17食料品が品薄になったスーパー 18多くの商品が棚から落ちたホームセンター 19避難所では多くの人が肩を寄せ合った 20危険な屋内を離れ屋外で朝を迎える避難者 21度重なる余震を計測する合志庁舎の震度計 22水道水は濁り飲めなくなった 23がれきであふれかえった仮置き場

16日の朝、見慣れたはずの家・まちを見渡すと、そこにはいつもと違う光景が広がっていた。水道から流れる薄茶色に濁った水、破損して散乱した食器や家具、割れた多数の屋根瓦やガラス、崩れ落ちた壁、亀裂が入った道路、崩壊した鳥居。多くの店舗は休業し、学校は休校。ガソリンスタンドには長い行列がで

た。き、緊急に設けた家屋廃材の仮置き場には、がれきなどが山のように積み上げられた。また、二次災害防止などのため、16日から本市を含む県内約10万5千戸で都市ガスの供給が停止した。水道は、市内のほとんどの地域で断続的に濁り水が発生し、飲用水として使用できない状況となった。

平成28年熊本地震の主な経緯





熊本に集まった数々の支援  
 志を合わせて  
 人と人が手を取り合うこと

17日の朝、各避難所で、最初の支援物資として寄付されたパンと水を配布。続いて自衛隊や地元事業者による給水活動が始まると、たちまち行列ができた。また、北海道DMAT（災害時派遣医療チーム）なども順次駆け付け、避難者の健康状態の確認や医療支援を行なった。給水支援を行なう自衛官から水を受け取った避難者は、「本当にありがたい」「水は本当に大切」と少しほっとした表情を見せた。

物資や医療支援、各種ボランティアを始め、県内および全国各地から続々と寄せられ始めた支援。避難所内でも住民同士が助け合い、難をしのいでいる。しかしその一方で収まらない余震。28日午前7時現在、震度1以上の地震は1019回観測されており、余震がおさまる気配はみられない。避難生活が長引く恐れもあるなか、この震災を乗り越えるためには一人一人が声を掛け合い、手を取って協力し合うことが、復興に向けて踏み出す最初の一步になるのではないだろうか。

—写真—  
 126710各地から届けられた支援物資 33地元を巡回する各地区の消防団員。物資運搬などあらゆる支援を行なった 4避難者の健康状態の確認にまわる北海道DMAT 5兵庫県の第3後方支援連隊衛生隊による医療支援 6宮崎県の第43普通科連隊による物資運搬 9地元事業者も給水支援など多岐にわたり尽力した  
 ※DMAT…Disaster Medical Assistance Team



—写真—

**11** 12 家屋廃材の仮置き場では、地元高校生らが搬入や分類を手伝った **13** **15** **20** 鹿児島県から第12普通科連隊による給水支援。多くの住民が飲み水を求めて列を作った **14** カントリーパークにキャンプを張って本市を大きく支援した兵庫県の第36普通科連隊のテント **16** **17** **18** 避難所では物資配布や健康相談、交流など避難者同士が自分にできることを行ない支え合う場面も **19** 被災しながらも、おにぎりなどを作り避難所へ届けた住民も複数いた **21** 「子どもたちに笑顔を」と博多区から3人の青年が届けたたこ焼きの炊き出し。各避難所ではさまざまな個人・団体が炊き出し支援を行なった

### ●ピーク時の避難者数（4月17日午前0時）

避難所	人数	避難所	人数
ふれあい館	549人	妙泉寺体育館	203人
ヴィーブル	700人	泉ヶ丘体育館	251人
泉ヶ丘市民センター	576人	合志南小	370人
みどり館	280人	合志南小グラウンド	120人
合生文化会館	52人	南ヶ丘小体育館	770人
野々島公民館	97人	西合志第一小	43人
御代志市民センター	82人	西合志南小	300人
黒石市民センター	156人	西合志南中	450人
須屋市民センター	748人	西合志中	280人
合志庁舎	150人	須屋浄化センター	52人
西合志庁舎	400人	合計	6,629人

### ●市総合防災マップ（保存版）

市内の避難所一覧や位置図、その他公共施設や医療機関、災害時に気を付けること、非常時持ち出し品の紹介など、災害時に役立つ情報を掲載しています。



ことし3月、区長などを通じて各世帯に配布していますのでご利用ください。

総務課（合志庁舎）、西合志庁舎総合窓口課、須屋支所、泉ヶ丘支所でも配布しています。

震災関連

インフォメーション



り災証明書を発行します

家屋などの被害について、保険請求や税などの減免、支援金の申請などに必要な、り災証明書を発行しています。

▼必要なもの

①被害状況が分かる復旧前の写真

②認め印

③り災地の位置図

▼申込窓口 総務課（合志庁舎）

西合志庁舎総合窓口課、須屋支所、泉ヶ丘支所

※総務課以外で申請した場合、証明書は後日郵送します。返信用封筒と82円切手を準備してください。

※住宅の全壊、半壊については現地確認が必要になるため、証明書発行までに時間を要します。また、返信用封筒と82円切手を準備してください。

▼問い合わせ先

総務課 交通防災班  
（合志庁舎）

☎(248)1112

災害による市税の減免

市民税・国民健康保険税

事業・譲渡所得などを含まれた合計所得が1千万円以下の人（物件所有者の扶養親族を含む）に対し、被災した住宅や家財の被害の割合により減免します。

※被害の額は、保険金などで補てんされる額を除きます。

固定資産税

被災した土地、家屋、償却資産の被害の割合により減免します。

軽自動車税

被災した軽自動車で、滅失、使用不能になったものについて全額減免します。

・広報4月号で紹介した、身体に障がいなどがある人の減免申請は6月10日（金）まで延長します。（来庁が困難な人は、個別に対応します）

▼申請に必要なもの

①災害減免申請書  
税務課窓口を設置。市ホームページにも掲載します。

☎(242)1112

②り災証明書（上記をご覧のうえ申請してください）

③被害状況・箇所が分かる写真

④保険金などの補てん金額が分かる書類（市民税・国民健康保険税のみ）

⑤被災した住宅や家財の取得価格が分かるもの（市民税・国民健康保険税のみ）

※被災の割合によっては減免できない場合があります。詳しくはお尋ねください。

▼申し込み・問い合わせ先  
税務課（合志庁舎）

☎(248)1114

市奨学資金貸付制度の申請期間を延長します

▼対象 大学、高等専門学校、高等学校、専門学校に在学中で、保護者が合志市民の人

▼申請期限

6月30日（木）  
※必要書類や要件、金額について、詳しくはお尋ねになるか、市ホームページをご覧ください。

▼申し込み・問い合わせ先

学校教育課 総務施設班  
（西合志庁舎）

☎(242)1112

被災者に宿泊施設などを無償で提供します

被災した人に、緊急避難所として旅館やホテルを紹介し

ます。

▼対象 自宅の損壊などにより、避難所などで生活している高齢者、障がい者、妊産婦など、特別な配慮が必要な人とその介助者

▼内容 宿泊施設、食事、入浴

※専門的な介護や、特別な配慮を要する食事の提供を除きます。

▼提供期間 応急仮設住宅などの整備により、避難所として利用する必要がなくなるまで。

▼その他 宿泊施設までは原則、各自での移動をお願いします。限りがあるため県で優先順位をつけて提供します。

▼申し込み・問い合わせ先  
健康づくり推進課  
健康推進班（西合志庁舎）

☎(242)1183

九州電力電気料金などの特別措置があります

▼内容

・支払期日を1カ月延長（支払期日が4月14日以降で、6月料金計算分まで）

・電気を使わなかった月の料金を免除（被災月から6カ月間）

・災害で使用できなくなった電気設備の基本料金を免除

・電気設備復旧のための工事費負担金を免除

・引込線や計量器などの取付位置変更に伴う諸工費の免除（10月末日まで）

▼手続き り災証明書など被害状況が確認できるものが必要ですが、詳しくはお尋ねください。

▼申し込み・問い合わせ先  
九州電力 大津営業所  
0120(986)6002

九州電力 熊本西営業所  
0120(986)6003



### 国民年金保険料の特例免除

震災で住宅、家財、その他の財産に損害を受けた場合、本人の申請により国民年金保険料が全額免除される場合があります。詳しくはお尋ねください。

▼対象 住宅など財産の被害金額がおおむね2分の1以上の損害を受けた人(り災証明書で半壊以上の記載がある人)

▼申し込み・問い合わせ先  
熊本西年金事務所  
☎(0503)0142

### 中小企業・小規模事業者への支援策があります

被災した中小企業・小規模事業者を対象とした、国などの支援策があります。詳しくは中小企業庁ホームページ「ミラサポ」をご確認のうえ、各窓口にご相談ください。  
<http://www.mirasapo.jp/>

▼主な支援内容  
・特別相談窓口の設置(日本政策金融公庫、商工中金、信用保証協会など)  
・災害復旧貸付(日本政策金融公庫・商工中金が運転資金

金や設備資金を融資)

・地震による売上げ減少などの保証「セーフティネット保証4号」の実施(信用保証協会会で相談受付中)

・既往債務の返済条件緩和などの対応(日本政策金融公庫・商工中金・信用保証協会が対応)

・小規模企業共済災害時貸付の適用(中小企業基盤整備機構が実施)

▼問い合わせ先  
中小企業復興支援センター  
熊本  
☎090(2712)3520

※当面、土日も対応

### こころの健康を守るために

強いストレスにさらされると誰でも不安を感じます。

まずは、休息や睡眠をできるだけとるようにしましょう。

▼不安や心配を和らげる呼吸法  
6秒で大きく吐き、6秒で軽く吸う。これを朝、夕5分ずつ行なう。

▼心掛けること

・周りの人とコミュニケーションを取りましょう。

・誰でも不安や心配になります。すが多くは徐々に回復します。

・眠れなくても、横になるだけで休めます。

・つらい気持ちは「治す」というより「支え合う」ことが大切です。

・無理をせず、身近な人や専門家に相談しましょう。

▼周りの人が不安を感じているときは

・そばに寄り添うなど、安心感を与えましょう。

・目を見て、普段よりゆっくりと話ししましょう。

・短い言葉ではつきり伝えましょう。

・つらい体験を無理に聞き出さないようにしましょう。

・「こころ」にこだわらず、困っていることの相談に乗ります。

▼子どものケア

・できるだけ子どもを一人にせず、安心感・安全感を与えましょう。

・抱っこや痛いところをさするなど、スキンシップを増やしましょう。

・赤ちゃん返り・依存・わがままなどが現れます。受け止めてあげましょう。

▼問い合わせ先

健康づくり推進課  
健康推進班(西合志庁舎)  
☎(242)1183

## 休日在宅医 休日開局薬局

### 菊池郡市医師会テレホンサービス ☎ 0968-25-3300

※変更になる場合があります。最新情報は上記でご確認ください。(歯科と薬局を除く)また、受診の際は各医療機関に電話でご確認ください。

月日	医療機関名	主な診療科目	所在	☎
5月15日	さとう医院	内・小・消	大津町	293-2550
	古田医院	内・循内	菊池市	0968-25-2280
	森本整形外科医院	整・リハ・リウ・形	御代志	242-2231
	ちとせ眼科	眼	菊陽町	243-1100
5月22日	ペエ歯科クリニック	歯	菊池市	0968-38-0202
	なみかわ小児科	小	大津町	293-1163
	郷胃腸科内科クリニック	胃・内・消・放	菊池市	0968-38-2121
	柴田整形外科	整・リハ	須屋	346-5500
	きくち宮本泌尿器科	泌	菊池市	0968-24-8101
高田歯科クリニック	歯	菊陽町	337-7139	

月日	医療機関名	主な診療科目	所在	☎
5月29日	竹田津医院	内・小	大津町	293-2521
	隈部医院	内・消・呼・放	菊池市	0968-25-2851
	緒方整形外科医院	整・リハ・リウ	幾久富	248-8181
	岩上眼科	眼	大津町	293-2053
	片山歯科医院	歯	大津町	293-0864
	西本真生堂薬局合志店	—	幾久富	247-6717
6月5日	ナカシマセブクリニック	内	須屋	288-0777
	ふくだ医院	内・耳・ア・泌	大津町	293-2771
	矢野医院	内・外	菊陽町	232-5266
	かつき皮膚科医院	皮	菊池市	0968-24-5500
光の森歯科クリニック	歯	菊陽町	340-2611	

- このほかの情報については、詳しい内容が決まり次第、広報や市ホームページ、回覧などでお知らせする予定です。
- 「出生おめでとうございます」「1歳ハッピーバースデー」など、広報5月号に掲載を予定していた記事の一部は、6月号に掲載する予定です。



合志市ふるさと大使  
山佳菜子さんのメッセージ

# 多くの皆様からの支援物資 本当にありがとうございました

発災後、合志庁舎や各避難所に全国の皆様から心のこもったたくさんのご支援を頂きました。

## 支援品

### ●食糧

水、お茶、コーヒ、ジュース、パン、カップラーメン、粉ミルク、おにぎり、竹輪、揚げ物、缶詰、チョコレート菓子、米など

### ●生活用品

毛布、紙コップ、紙皿、割りばし、トイレットペーパー、紙おむつ（子ども用・大人用）、おしりふき、マスク、生理用品、歯ブラシ、入れ歯洗浄剤、デンタルリンス、食品用ラップフィルム、洗剤、哺乳瓶など

### ●その他災害支援

造水器（無償リース）、土のう袋、ブルーシート、ダンボール、アルミシート、マットレス、物資仕分け・配送手伝いなど

## お届け人（順不同・敬称略）

アベニールデザイン、イオン南九州、居酒屋ふるしよう、海上自衛隊、菊南運輸、菊南斎場、金馬車北部店、熊本県トラック協会、コスモリサーチ、佐賀市大和町有明急送、財宝、三茂、CKカンパニー、自然電力、とうかん工業、西日本産業、日本イノアック、日本聖約キリスト教団エターナル、ネスレ、ファミリーマート、フジパン、宮崎県宮崎市清武町市民グループ、熊本県歯科医師会、合志市商工会、湯前町商工会、熊本県、湯前町、玉東町、鹿児島県、長崎県松浦市、長崎県島原市、福岡県みやま市、福岡県宗像市、福岡県柳川市、九州市長会、九州地方整備局、埼玉県朝霞市、新潟県胎内市、ほか、多くの個人の皆様  
※4月20日までに到着が確認できたものを記載しています。記載漏れや氏名、団体名などの誤字などがございましたら深くお詫び申し上げます。また、受け付けなしの善意の寄付なども多数ありました。

## 被災された皆様へ

このたびの熊本地震によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

私たちが住む合志市におきましても、今般の大地震により、上下水道や道路などのライフラインの断絶、家屋の損壊や屋根瓦の崩落など、その被害は甚大でありました。

特に、市内全域で断続的に発生した水道水の濁りにつきまわしては、市民の皆様に変惑をおかけいたしました。自衛隊や市管工事組合の給水支援をいただき、飲料水を提供するなどして対応いたしました。大変ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

本市としましては、一刻も早い復旧を目指し、市民の皆様と相携え、全力を挙げて取り組んでまいります。存じますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合志市長 荒木義行

## 施設の休館と今後の利用などについて

### ①総合センター ヴィーブル

施設全体に大きな被害を受けています。復旧工事が必要ですので、当分の間全館休館とします。

※平成28年度生涯学習主催講座（前期）は中止します。

### ②市立図書館

復旧作業のため休館します。

安全確認ができ次第、順次開館します。

### ③各市民センター・野々島公民館・スポーツ施設

被災したり、避難所やがれき仮置き場として使用しているため、利用をお断りしています。

なお、泉ヶ丘体育館・妙泉寺体育館・一部のグラウンドは5月10日(火)から予約受付を再開しています。

※各施設の開館時期、予約開始やすでに予約していたグラウンドを使用できない場合の返金については、市ホームページなどでお知らせします。学校施設は各学校に状況をお尋ねください。

●問い合わせ先 生涯学習課（ヴィーブル） ☎248-5555

